



## 大地申1号「JR東労組大宮地本第19回定期大会」の発言に基づく申し入れ③

### 宇都宮駅で発生した脱退強要について議論！

○脱退強要の経緯(発生日:2018年4月9日) 宇都宮駅・元組合員の声

定期の多売期で窓口には、多くのお客様が並んでいる中、出札窓口で接客中にも関わらず、窓口を営業助役に閉めるよう指示され、内勤室に向かう。

内勤室で副駅長と面談を行った際に、机には脱退届と賃金控除停止依頼書があり、「状況分かっているよね、将来のことを考えるのであれば、早めに判断した方が良い」と言われ脱退の強要をされる。この日以降、出勤するたびに呼び出され、脱退の強要をされ、4月18日に脱退した。脱退強要がなければ東労組を脱退していなかった。

組合) 宇都宮駅の脱退強要の事象に対し、会社の考えはどうか？

会社) 当該箇所にいたわけではない、コメントできない。そもそも社員が脱退に至る組合加入は、個人の自由で会社が関与するものではない。本人が判断するものである。

組合) この事象を調査するべきだ。

会社) 現場の状況は、コミュニケーションを使い、把握している。改めて調査する考えはない。

組合) 調査せずになぜ脱退強要がないと言えるのか？

会社) 会社として脱退強要の意図はない、このようなことはない。

組合) 脱退強要について、いつ、どこで、誰が、どのようなことをしているか団体交渉の場で具体的に提起した。一切受け止めないということか。

会社) 組合から氷山の一角と言われたが、3月頃から事例を聞いている。組合の意見は蔑ろにはしない、組合から指摘受けていると会社の中で伝えている。受け止めて話をしている。

組合) 我々は具体的に事象を提起している。調査するべき。

会社) 調査するかは考えていないが、このような話を団交の場に出たことは会社内で話していく。

将来のために  
組合をやめた方が  
良いよ



**組合から宇都宮駅の脱退強要の事象を具体的に提起し、調査して是正することを求めましたが、会社は脱退強要の認識も意図もないと繰り返し、調査を拒否しました！**

**組合が調査した、宇都宮駅副駅長の行為は明らかに脱退強要、不当労働行為であり、管理者として不適格です！猛省と謝罪を求めます！**

## 脱退強要が発覚したらすぐに報告！

④に続く